



白樺学園高等学校
河西郡芽室町北伏古東7線10番1
TEL (0155)62-7411(代)
(0155)62-6811(職)

しらかほ



第62回インターハイアイスホッケー競技決勝、白樺学園は3-0で駒大苫小牧に勝利、念願の優勝を果たした。

アイスホッケー部

全国選抜初優勝

高校全冠達成

インターハイ優勝

3年ぶり3度目

史上2校目

道外から夢を追って十勝へ ~いつも支えてくれた家族に感謝~

自分は、香川県出身で父や兄の影響で七歳からアイスホッケーを初めました。そして、高校選択を考えだした頃に親と相談をして自分の好きなホッケーをやりたいと思いつきました。香川県には強い社会人のクラブチームがあります。その中に白樺学園出身の選手も数多くいます。また、体験で練習に参加させていただきました。また、チームのレベルも高く監督やコーチの指導がとても良かったこと、下宿での環境もよく、ホッケーに打ち込めるなと思い、日本一を目指し白樺学園高校に入学しました。

とても、辛いことや辞めたいと思うことは何度もありました。そんなとき一番の支えは三年間一緒に過ごした三年生の仲間でした。辞めないで続けてきて、本当に良かったと思っています。

優勝も感動でしたが、最後のインターハイで試合に出られない三年生もチームのために仕事をしてくれたことに感謝し



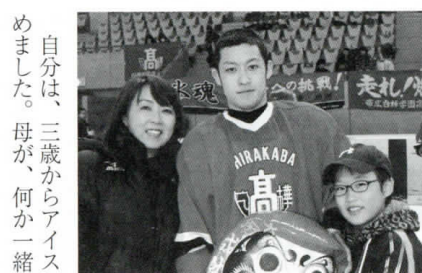
アイスホッケー部
3年 虎 直人
(香川県高松市立山田中学校出身)

ました。特に永井亨樹はアシスタントキヤプテンとしてベンチの裏でメンバーに声をかけてくれたり盛り上げてくれて本当に助かりました。

三年間の最後を最高のかたちで終えられて最高に嬉しいです。帯広から応援に来てくれた人など、たくさんの方の応援のおかげで日本一になることができました。白樺に入っても悔しい思いや、最高に嬉しい思いを経験することができました。この経験を生かしこれからの人生の糧にしたいと思います。

本当に支えてくれたチームの皆、迷惑をかけた帯広の自宅生の親、自分達のために厳しく接して下さった監督やコーチなにより、この三年間応援し続けてくれた家族に感謝をしています。後輩達は、さらに厳しい無敗連覇という目標に向かって頑張ってもらいたいです。

本当にたくさんの方の応援ありがとうございました。



アイスホッケー部
3年 皆川 慎太郎
(東京都江戸川区立小岩第一中学校出身)

自分は、三歳からアイスホッケーを始めました。母が、何か一緒にできるスポーツ

この最高の仲間であり最高のチームメイトと出会えて、プレーできて、そして優勝することができて本当に良かったです。そして監督、コーチなどのスタッフ、そして今まで支え続けてくれた親や、仲間、応援してくれた人に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。最後に最高のかたちで終わって本当に良かったです。

これから一年生、二年生には三年間あつという間に終わってしまうので、一つ一つのことを精一杯、全力でとりこんで悔いの残らない三年間にしたいと思っています。そして、一回も負けないうでインターハイでも二連覇できるようにがんばってほしいです。

1つはないかと探していたところたまに出会ったのがアイスホッケーでした。気がついた時にはホッケーをやっていた感じがします。そして中学生まで東京のクラブチームでプレーしていました。

白樺学園のアイスホッケー部に入ろうと思ったきっかけは、自分が中学二年、三年の時のインターハイで白樺が優勝したことで、自分も優勝したい日本一になりたいと思ったからです。

高校に入学してからは陸上トレーニングも水上練習も自分の予想をはるかに上回る辛さにとっても驚きました。でも、最高の仲間に出会えてここまで続けてこれました。

最後の大会では、チームが一つになり一人一人が自分の今できることをしっかりと精一杯やりインターハイで優勝し日本一なることができました。今まで生きてきて一番嬉しかった達成感でいっぱいでした。



アイスホッケー部
監督 湊谷 匡晃

昨年八月に行われた全国選抜大会で優勝し、高校タイトルを全て取るという形で幸先の良いスタートを切った今シーズンでしたが、その後の大会では決勝戦に駒を進めるも、宿敵駒大苫小牧高校にはね返されるという結果が続き、特に全道大会決勝では二五という得点差以上に試合内容は完敗でした。この悔しい敗戦から全国大会までは一か月。

新入生十二名を迎え、三十四名という部員数でのレギュラー争いは益々厳しさを増して行きました。厳冬の中の雪中トレーニングや水上練習を含め、一日三部練習という日々が続きました。またアジアリーグで活躍するOBの試合のDVDを見て参考にし、その後の練習に生かして行きました。悔しい敗戦をばねに、王座奪還という目標達成に向けて、人里

主将を中心に三年生がチームをけん引しながら、上記のような努力を積み重ねて行きました。迎えた全国大会。二回戦、準々決勝、準決勝はプレッシャーを感じながらも勝利しましたが、チーム内で試合に対する気持ちの温度差に不満が爆発し、毎試合・毎ピリオドごとに生徒に激飛す日々でした。移動のバスへの同乗を準決勝まで取りやめ、モータリングで多くを語らず、生徒達に考える時間や自発的な行動を期待しながら待ちました。

そして決勝戦。プレッシャーを全員で乗り越えようと、バスの中で校歌を歌うなど、前日までの雰囲気とは違っていました。宿敵駒大苫小牧との対戦となり、ゲームの序盤は一年生の多くは緊張感からか動きが堅く、本来のプレーができず、不甲斐なさに対して私が勇気づける言葉が励みという光景に試合中でありながらも、喜びを感じていました。ベンチ内も声を掛け合い、試合に出られない者も声がかかるまで応援し、一丸となって戦っていることを実感していました。その中か

ら生まれた、第二ピリオドの三連続得点。その後何度も訪れるピンチの場面でも全員で体を張って堅実な守りを粘り強く続け、ついに迎えた栄光へのカウントダウン、全国優勝V3は完封での勝利という最高の形で締めくくることができました。生徒達は嬉し涙を流しながら仲間と抱き合う顔には、達成感が満ちあふれていました。

また試合後、全国で頑張っている多くのOB達からも祝福の言葉が届き、母校の優勝を心から喜び、「この優勝を励みに自分達も日々頑張ります」という言葉に現生徒もOBも繋がっていることを改めて実感することができました。この優勝を通して、一丸となる大切さと、人とのつながりの素晴らしさに改めて感動しました。生徒達には「また日本一の監督にしてくれて、有り難う」という感謝の言葉を贈りたいです。

最後にスタッフへの感謝と釧路まで道路条件の悪い中、応援に駆けつけてくれた生徒達や父母や教職員の方々にも心より感謝申し上げます。

夢を求めて

活躍する先輩たちからのメッセージ

アイスホッケー

オリンピックを目指す

王子イーグルス F.W 10番

三田村 康平

(帯広市立南町中学校出身
平成二十一年度卒業生)

王子製紙アイスホッケー部(王子イーグルス)に所属しております三田村康平です。今の自分があるのも南町中学校から、白樺学園高校に進学し過ごした三年間が基盤となっていると言っても過言ではないと思っています。まず、高校時代は湊谷先生指示の下がむしやらに三年間アイスホッケーに取り組みることができました。また、アイスホッケーを通して人間性も学ぶことも出来ました。今でも湊谷先生には感謝しています。そして、やはり二年、三年時に最高の仲間たちとインターハイ連覇を達成できたことが思い出として残っています。誇りにも思っています。

高校卒業後は、幼い頃から憧れていた夢であった王子イーグルスに入部することが出来ました。入部当時は右も左も分からずただ練習について行くのがやっとでしたが、一年目の後半から少しずつ起用してもらいトップリーグのスピードに慣れることが出来ました。

二年目のシーズンは、スタートから主力で起用してもらいましたが、まだまだ先輩たちに助けられながら必死にパツクに食らい付くホッケーしか出来ませんでした。

そして、三年目のシーズン。二〇一四年冬季ソチオリンピック一次予選が日光市で行われることが決まりました。それに伴い個人目標が今年には二つできました。一つ目はやはり王子イーグルスで主力として活躍し優勝することですが、もう一つは「日の丸」を背



オリンピック日本代表チームに選ばれプレーする

陸上

夢と仲間と感謝の気持ち 四年後を目指す

東海大学 体育学部 四年

小西 康道

(幕別町立幕別中学校出身
平成二十年度卒業生)

私は神奈川県にあり、東海大学四年生の小西康道と申します。陸上競技の走幅跳という競技を行ってまいります。私の高校生活は「夢」というものが芽生え、「仲間」の大切さに気付かされた三年間でした。

中学時代は全国大会出場することはできませんでしたが、全国の舞台で勝負するにはまだ力が足りないレベルでした。しかし、高校に入學して、目標でありライバルである皆川という選手と出会い、同じ環境の中で練習を積んでいく中で、日々、互いに動きを見合い、練習の中から質の高い練習を行って、お互い負けず嫌いであったため、相手より少しでも強くなろうと、時には居残り練習を行い、時には隠れて練習をすることもありました。陸上競技部の顧問である奥泉先生からも熱心な指導を受け、全ての競技の基本でもある走トレーニングや体幹トレーニングを中心に身体の土台となる部分を指導していただき、その土台があるから今の自分があると思えます。また、時には厳しく、時にはみんなを笑わせてくれる発言もあり、選手と先生の信頼関係が良好であったことも成長につながると思っています。

その環境の中で順調に記録も伸び、二年生のときにインターハイという高校生最高の舞台で皆川が優勝、私が準優勝し、ワン・ツリーという結果を残すことができました。個人的な成績では、インターハイ前にチェコという国で行われた十七歳以下の世界大会(世界ユース選手権大会)の日本代



写真提供/十勝毎日新聞社

表に選出されたとき、優勝することができ、「全国」ではなく「世界」という舞台を初めて経験し、優勝することもでき、大きな自信を得るとともに、「オリンピック」という夢が目標に変わりました。三年生に上がり、最後のインターハイは過去に例がない二年連続のワン・ツーを目標に挑みましたが、皆川は二連覇を果たしましたが、私は六位という悔しい結果に終わりました。しかし、二日後に行われた三段跳という種目で優勝することができ、二人で全国の頂点に立つことができました。この結果は私一人では絶対には達成できなかったと思うし、今まで一緒に練習してきた仲間や大声で応援してくれる仲間、身近にライバルがいたから常に危機感を持って成長できたのだと思います。

高校を卒業し、今年のロンドンオリンピックを目指して、トレーニングを行ってきた、オリンピック参加標準記録の8m10という記録まであと15cmに迫る7m95まで記録を伸ばすことができ、夢でしかなかったオリンピックという舞台が手の届くかもしれない目標へと変わりました。しかし、ケガなどが重なり代表選考会である日本選手権では結果を残すことができず、オリ

ンピックという夢の舞台への挑戦が終わりました。四年に一回のチャンス、一生のうちには挑戦することができないのは二、三回しかなく、また次のチャンスは四年後、ロンドンオリンピックをテレビで観戦していると、オリンピックに対する憧れや夢が溢れでてきて、四年後を目標そうと決意しました。卒業後は東海大学の大学院へ進学し、もう一つの夢である「教員」を目指し、勉強と陸上競技の両立をしていきたいと思っています。

最後に、私が皆さんに伝えたいことは、まずは日常生活を疎かにしないということを一歩に伝えたいと思います。一見、スポーツと日常生活や勉強の何が関係あるのか?と思うかもしれませんが、言葉では伝えることができませんが、実践したら自ら感じる事ができるはずで、誰かが見ているからやるのでは意味がありません。誰も見ていないときこそ努力することが勉強にもスポーツにも必要だと思えます。そして、目標や夢を持つこと。最初は実現することが困難なこともかもしれませんが、その目標に向かっていく過程というのが大切で、その後の人生に絶対に役立つはずで、また、仲間や支えてくださったことに感謝することも大切です。今、自分がここにいることができるのは家族の支えや仲間がいるからだと思っています。謙虚な気持ちと感謝の気持ちは忘れてはならないことです。

サッカー

夢と高校生活

札幌大学経済学部 四年

手塚 史明

(帯広市立大空中学校出身
平成二十年度卒業生)

サッカー部に所属していた手塚史明です。卒業後は札幌大学に進学し、四年次にはサッカー部で副主将を務めております。大学サッカーでの夢は、全日本大学サッカー選手権大会で全国制覇をすることです。来春からは社

会に出て大人達の仲間入りをする私には、本気で何か好きなことに取り組み、挑戦できるのはこれが最後のかなと感じています。サッカー最弱地区と言われている雪国北海道のサッカーがどこまでやれるのか、自分自身のか、不安よりも楽しみな気持ちでいっばいですが、北海道の中ではありますが、いまこうやってトップチームの環境でサッカーをやれているのは、監督の二川先生をはじめ、担任でサッカー部の部長でもあった吉田先生の後押しがあったからだと思います。



副主将として6年ぶりのインカレ初戦突破に貢献(写真は準々決勝vs早大戦)

サッカークラブに情熱を注ぎ、私たち生徒のことに真剣に悩んでくれる先生方に出会えたこと、同年代の輝く仲間たちに出会えたこと、毎日切磋琢磨しあえる仲間がいる白樺学園にきて本当に良かったと思います。

私は今春から株式会社に入社し、新たな夢に向かってエンジンを全開で突き進んでいます。未熟ながらも、がむしやりに頑張ることで先輩たちに何か夢や希望を与えられれば良いと思います。

夢を求めて

今年卒業

3年間野球に打ち込み、2年生で夢を達成させ甲子園に出場。12打数7安打の活躍を見せた佐藤優太くん。プロ野球選手も排出するなど、あこがれの東京六大学のひとつ、名門明治大学に進学することになった。高校3年間と抱負を語っていただきました。

道を切り開いた高校生活

体育コース 三年 佐藤 優太
(帯広市立大空中学校出身)

私は三年間、白樺学園高校の生活で、多くの人と出会い、数多くの良い経験をする事ができました。幼い頃からずっと野球が好きで、中学三年生の夏に、白樺学園高校野球部で野球をしたいと思い、白樺学園高校への進学を決めました。

体育コースへ入学して、まず一番に、周りの人たちの身体能力の高さに驚きました。ほとんどの部活がトップレベルに近いほどの成績を残していました。クラスでは、賑やかな毎日が続いて楽しい日々でした。スポーツをやっているだけのことはあり、そういった賑やかな中にも、授業と休み時間のメリハリもついていて、勉強もしやすかったです。部活動は、高校生活の中で一番大きな存在でした。二年生の夏には、憧れの舞台である全国高等学校野球選手権大会に一番セカンドで出場し、一回戦【鳥取商業】、二回戦【智辯和歌山】共に延長戦という熱戦を繰り広げることが出来たのは、私の人生の中で、一生忘れられないものです。

三年生となり、最後まで甲子園を目指してがんばりましたが、最後の夏は甲子園に行くことはできませんでした。指導者に野球の成績で恩返し出来なかったことは、今でもとても悔しいです。しかし、三年間共にしてきた、野球部の仲間、指導者、両親、白樺学園高校に来たからこそ出会えた人がたくさんいました。多くの方が、私を支えてくれたり、アドバイスをくれたりなど、これからの私の『道』を切り開いてくれました。そういった方々がいたからこそ、東京六大学への進学も決めることができました。

これから私は、野球でも、勉強でもさらに上を目指して、明治大学へ進学します。今まで教わったことを生かして、しっかりと努力を積み重ねていきたいと思っています。大学では、私の人生において極めて重要な場所になると思います。まずはプロ選手を目指すと共に、教員免許取得を目指して頑張っていきます。

私は三年間、野球に関しては、誰よりも努力してきたと思っています。それは、それだけ白樺学園高等学校が努力できる良い環境が整っていたからだと思います。だからこそ白樺学園高等学校で過ごした三年間を、私は誇りに思います。



実学夢講座

白樺学園高校にしかない取り組みとして、北海道ハイテクノロジー専門学校と連携して、専門学校で一泊二日の学習体験を行っています。進学・教養コースの生徒たちにとっては、楽しく、進路選択にもおおいに役立っているという。参加者の声を紹介します。

実学夢講座のスクリーンングに行こう

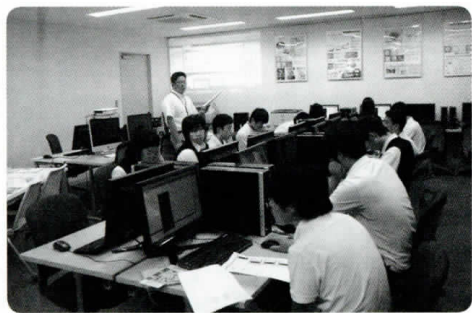
進学・教養コース二年 佐藤 優成
(帯広市立帯広第一中学校出身)

私は、『実学夢講座』で恵庭市にある『北海道ハイテクノロジー専門学校』に、一泊二日のスクリーンングへ行ってきました。私が選んだ講座は『スポーツトレーナー』と『プログラマー』の二つでした。

スポーツトレーナーでは、新しいスポーツ、『インディア』を知りました。初めてやったのですが、とても面白かったです。このスポーツは、バレーボールのボールのかわりにバドミントンのシャトルを大きくしたものを利用します。また、身近なベットのボールを加工してテニスボールを投げ返すスポーツも実際にやってみて楽しく、良い経験になったと思います。工夫することで新しいスポーツが生まれることに、気がついてうれしかったです。また、あたりまえかもしれませんが、体を動かすことは楽しいことだと実感できました。

次にプログラマーです。実際にiPhoneアプリの作製や画像の編集など、実際に体験できました。おかげで、英語の知識はある程度必要ということも、肌で感じる事が出来ました。これから、「もっと英語を勉強しよう」と思うことができました。講座全体を通じて、あきらめずに最後までやり通す精神力、体力、行動をおこす勇氣といったもの大切さに気がついたと思います。また数学や英語、体育に努力したいと感じました。宿泊先は至れり尽くせりの環境ではありませんでしたが、そのことで、逆に、日頃ぐまらたて感謝できました。これから

の生活に活かして行きたい気がつきたくさんある、有意義な時間でした。



体験するNJJY・実感するNJJY

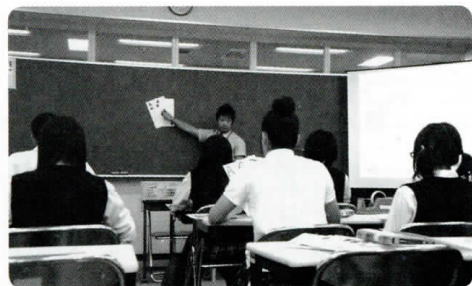
進学・教養コース二年 白石 奈津季
(帯広市立帯広第八中学校出身)

私は、保育と動物の夢講座を選択しました。一日目は保育・福祉・介護の講座を受講しました。「分かりやすく教えるということ」を学びました。折り紙をこどもでもわかるように教えるにはどうすればよいかを学びました。

目隠し体験で、目が見えない人の体験も行いました。右に立つか左に立つか決め、誘導。腕をくんで歩き、周りに注意をはらいながら進み、相手に声をかけながら行いました。わかりやすく物事を伝えることがとても大切だと気がつきました。二日目の動物看護士講座は、犬と遊びました。動物たちのためにやっている仕事を様々なことが出来ました。そうやって働いている人たちはとても輝いて見えました。私は犬と遊んだことがあまりなかったため、この講座のおかげで実感が持てたと思います。

子どもに折り紙を教えること、障がいをもつ人のお世話をすること、犬を飼うときに大切なことなど、想像ではわからなかったことが実際に体験できることはとても貴重で、学校を卒業した後もいきる経験ができたなと感じました。人をサポートするのに、声を大きくすることの大切さも実感。これからの生活の中でも、もっと大きな声でだせるように気をつけて行きたいと思いました。

将来の職業を何にするか決まっています。二つの講座を経験できたことは、考える良いきっかけになったと思います。また今回の貴重な経験を忘れることはないと感じています。それにとっても楽しかったので、高校生活の思い出の一つになりました。修学旅行やその他学校で行われる行事も、これくらいに楽しく充実させて行きたいと思いました。



進学

大学

Table with 3 columns: School Name, Department/Discipline, and Count. Lists various universities and their respective counts, totaling 42.

短期大学

Table with 3 columns: School Name, Discipline Name, and Count. Lists short-term universities and their counts, totaling 8.

高技専

Table with 3 columns: School Name, Discipline Name, and Count. Lists technical colleges and their counts, totaling 11.

看護・専門学校

Table with 3 columns: School Name, Discipline Name, and Count. Lists nursing and vocational schools and their counts, totaling 22.

平成23年度 進路状況

北海道教育大学 7年連続合格

就職率 3年連続 100%

就職

公務員

Table with 2 columns: Position and Count. Lists public service jobs like police and administrative roles, totaling 6.

道内

Table with 2 columns: Location and Count. Lists various locations within Hokkaido, totaling 6.

管内

Table with 2 columns: Company Name and Count. Lists various companies like manufacturing and retail, totaling 18.

勉強合宿

今年も頑張りました！ 進路指導部 教諭 春木 雄一郎

七月三十日から八月一日にかけての二泊三日、札幌大学セミナーハウスにおいて、勉強合宿を行いました。...

先輩からのメッセージ

入学してよかった 小樽商科大学 一年 坂崎 宗彦

私は去年白樺学園高等学校を卒業し小樽商科大学に入学しました。高校生活を振り返ると、進路が進むにつれて自分なりの目標ができてきた。...

大学って楽しい！ 進路指導に感謝です！ 帯広畜産大学 別科 吉田 まどか

1、サッカー、テニス、野球、アメフトにアイスホッケーをするためのリンク場など設備も整っています。動物も犬、牛、ダチョウ、羊、豚、馬、猫もそこらへんに歩いていて...